

<報道関係者各位>

2017年9月28日
株式会社イー・ラーニング研究所

子どもがいる親世代に聞いた「2020年の教育改革に関するアンケート」
2020年の教育改革に賛成の親世代はなんと97%!
2020年の教育改革に向けて取り組みたいことに「プログラミング」が上昇

e-ラーニングに関するサービスの様々なコンテンツを提供する株式会社イー・ラーニング研究所(代表取締役:吉田智雄、本社:大阪府吹田市 以下、イー・ラーニング研究所)は、2020年から実施が予定されている教育改革への関心の高さや、取り組んでいることを調査するため、子どもを持つ親を対象に「2020年の教育改革に関するアンケート」を実施いたしましたので発表いたします。

イー・ラーニング研究所は、インターネットを利用した家庭向け e-ラーニングサービス『フォルスクラブ』、無料動画配信サービス『スクール TV』などのデジタルサービスに加え、グローバル社会で活躍できる力を育む『子ども未来キャリア塾』、『プログラミング教室』、『そろばん教室』などリアルスクールを展開しています。

今回、イー・ラーニング研究所では20代~50代の子どもがいる親を対象に「2020年の教育改革に関するアンケート」を実施いたしました。その結果、2020年から実施が予定されている教育改革への関心の高さなど、実態が見える調査結果となりました。

【「2020年の教育改革に関するアンケート」調査概要】

調査方法 : 紙回答

調査地域 : 全国

調査期間 : 2017年9月4日(月)~9月22日(金)

調査対象 : 20代~50代の子どもがいる親 男女 計267人

※本リリースに関する内容をご掲載の際は、必ず「イー・ラーニング研究所調べ」と明記してください

調査結果概要

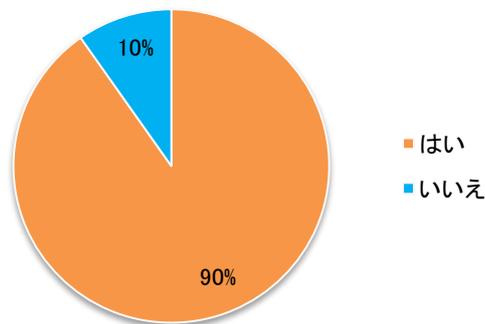
- ①「2020年に教育改革が実施されることを知っている」と9割の親世代が回答!
認知されている変更予定内容 第1位は「センター試験が廃止され、新たな試験が導入される」
⇒「2020年に教育改革が実施されることを知っている」と回答した親世代は9割と多い。認知されている変更予定内容は「センター試験が廃止され、新たな試験が導入される」が第1位に。
- ②「2020年の教育改革に向けて具体的に対策をしていることがある」と答えた親世代は2割!
新しく始めてみたい習いごとは「プログラミング」が上昇
⇒2020年の教育改革に向けて、具体的に対策をしていることがあると回答した親世代は約2割と少なく、「プログラミング」に取り組んでいる人も第4位と低いものの、「2020年の教育改革に向けて、今後取り組みたいこと」では第1位と上昇している。
- ③「2020年に教育改革がなぜ実施されるか知っている」と答えた親世代は7割!
⇒2020年に教育改革がなぜ実施されるか知っている親世代は7割と多い。
- ④「2020年の教育改革に賛成」と答えた親世代はなんと97%!
⇒2020年の教育改革に賛成の親世代は97%と多く、前向きに捉えられていることがわかる結果に。

1、「2020年に教育改革が実施されることを知っている」と9割の親世代が回答！認知されている変更予定
内容 第1位は「センター試験が廃止され、新たな試験が導入される」

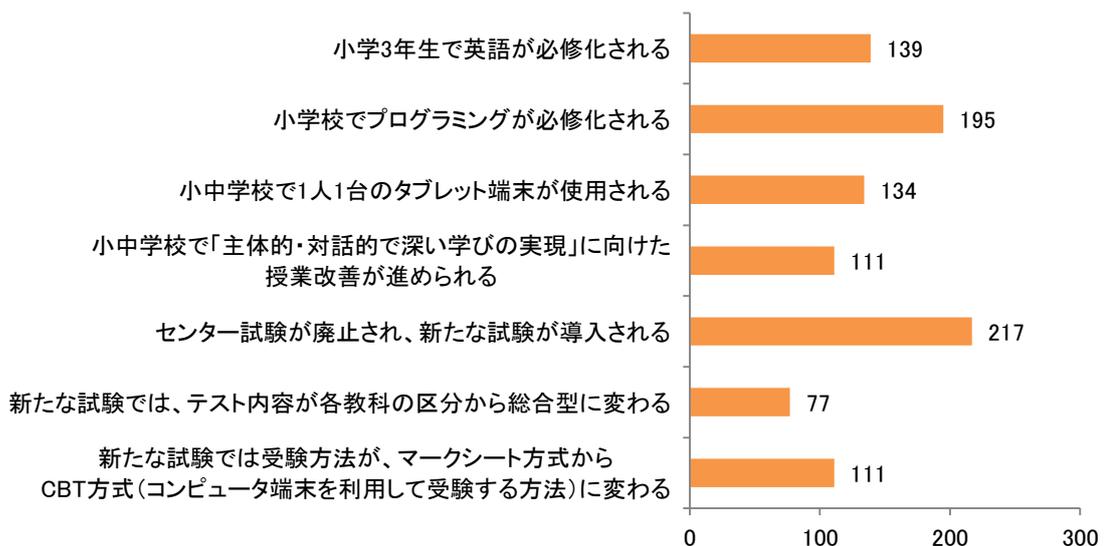
「2020年に教育改革が実施されることを知っていますか<SA>」という問では、「はい」が90%、「いいえ」が10%という結果になり、子どもを持つ親世代の9割が2020年に教育改革が実施されることを知っていることがわかりました。

また、「教育改革では具体的にどのような変更が予定されるか知っていますか<MA>」という問では、第1位が「センター試験が廃止され、新たな試験が導入される」(217)、第2位が「小学校でプログラミングが必修化される」(195)、第3位が「小学3年生で英語が必修化される」(139)が続きました。

Q:2020年に教育改革が実施されることを知っていますか<SA n=267>



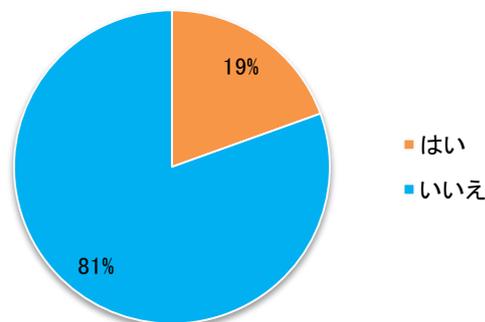
Q:教育改革では具体的にどのような変更が予定されるか知っていますか <MA n=984>



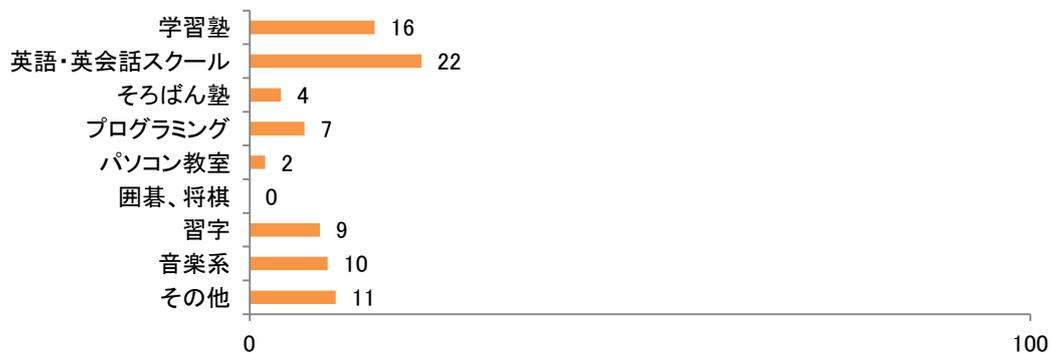
2、「2020年の教育改革に向けて具体的に対策をしていることがある」と答えた親世代は2割！新しく始めてみたい習いごとは「プログラミング」が上昇

「2020年に教育改革に向けて、具体的に対策をしていますか<SA>」という問では、「はい」が19%、「いいえ」が81%という結果になりました。「具体的に何に取り組んでいますか、<MA>」という問では、第1位が「英語・英会話スクール」(22)、第2位が「学習塾」(16)、第3位が音楽系(10)という回答が集まりました。また、「今後取り組むとしたら、具体的に学校以外で何に取り組みたいです<MA>」という問いでは、第1位が「プログラミング」(167)、第2位が「英語・英会話スクール」(164)という回答が多く集まりました。2020年の教育改革に向けて、具体的に対策をしていることがあると回答した人は約2割と少なく、「プログラミング」に取り組んでいる人も第4位と低いものの、「2020年の教育改革に向けて、今後取り組みたいこと」では第1位と上昇しており、2020年から小学校での必修化が決まった動きから注目されていると考えられます。

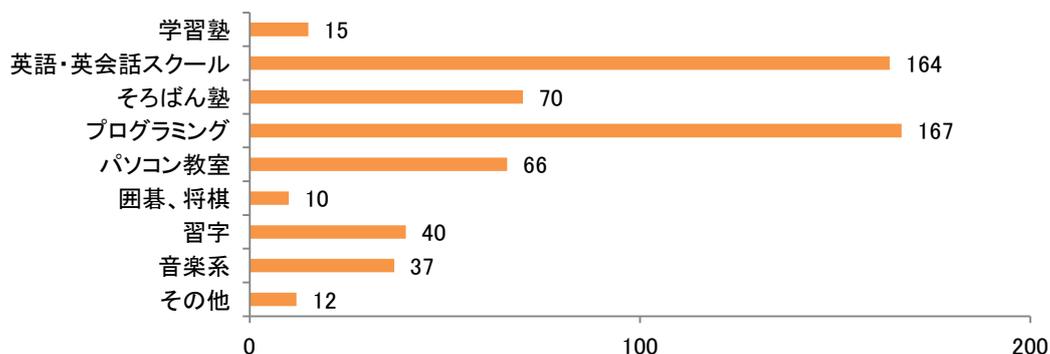
Q: 2020年に教育改革に向けて、具体的に対策をしていますか<SA n=267>



Q: 具体的に何に取り組んでいますか <MA n=81>



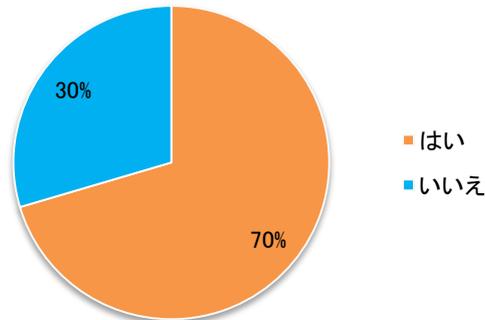
Q: 今後取り組むとしたら、具体的に学校以外で何に取り組みたいです<MA n=581>



3、「2020年に教育改革がなぜ実施されるか知っている」と答えた親世代は7割！

「2020年に教育改革がなぜ実施されるか知っていますか<SA>」という問では、「はい」が70%、「いいえ」が30%という結果になりました。2020年に教育改革がなぜ実施されるか理由も知っている人が多く、関心の高さが伺えます。

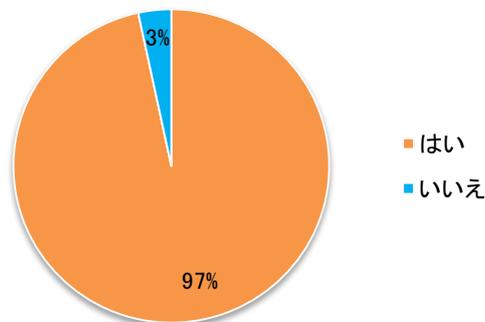
Q:2020年に教育改革がなぜ実施されるか知っていますか<SA n=267>



4、「2020年の教育改革に賛成」と答えた親世代はなんと97%！

「2020年の教育改革に賛成ですか<SA>」という問では、「はい」が97%、「いいえ」が3%という結果になりました。2020年の教育改革は子供を持つ親にとって前向きに捉えられていることがわかります。

Q:2020年の教育改革に賛成ですか<SA n=267>



【子ども未来キャリア塾 概要】

「子ども未来キャリア塾」は、思考力と対人能力を養い、社会で活躍できる基礎能力を身につける小学生向けのリアルスクールです。「ロジカルシンキングスキル」「プレゼンテーションスキル」「コミュニケーションスキル」「ディスカッションスキル」「リーダーシップ」「統計学」などの能力の育成などをカリキュラムに組み込んでいます。

- 場所 : フォルスアカデミー(東京都港区港南 2 丁目 4-7 石橋ビル 4F)
- 授業日時 : 原則月 2 回 隔週土曜日(第 2、第 4)
- URL : <https://force-academy.jp/kodomo-mirai-career/>



【フォルスロボットスクール 概要】

「フォルスロボットスクール」は 1 レッスン毎に課題を解決するためのロボット制作を 3 時間のワークショップ形式で行い、教材はロボット制作だけではなくプログラミングを行えるロボット教育の世界標準モデルである『教育用レゴ・マインドストーム EV3』を使用します。2 人 1 組のバディ制の取り入れや、発表の場を設けるなど、様々な体験をレッスンの中で提供することで、問題解決能力を養い、知的好奇心や探求心、論理的思考能力、表現力の醸成を目指します。また、授業にタブレットを導入することで、テキストの紛失・忘れ物防止の他、お子さん自身で制作したロボットの動画や写真撮影が可能となります。

- 場所 : フォルスアカデミー芝浦校(東京都港区芝浦 3 丁目 20-10 岩本ビル 1F)
フォルスアカデミー江坂校(大阪府吹田市江坂町 1 丁目 23-38 F&M ビル 1F)
- 授業日時 : 原則月 2 回
- 授業時間 : 10:00~13:00/3 時間
14:00~17:00/3 時間
- 対象学年 : 小学 2~6 年生
- URL : <https://force-academy.jp/force-robot/>



【フォルスそろばん教室 概要】

「フォルスそろばん教室」は、子どもの能力に合わせた説明組、計り組、試験組の 3 つのグループに分けた個別対応指導を行っています。カリキュラムは正解体験を積み重ね、理解していくスモールステップ方式を採用しており、何回も挑戦することで子どもたちのやる気を育てます。さらに、個別対応を活かして、子どもたちが前向きな気持ちになる声かけを行っています。しっかりと挨拶や言葉遣いに気をつけること、大切な学習姿勢を教えることで、子どもたちの自律・自立の心を育てます。

- 場所 : フォルスアカデミー(東京都港区港南 2 丁目 4-7 石橋ビル 4F)
- 授業日時 : 火曜日~金曜日
- 授業時間 : 15:30~、16:30~、17:30~、
- 対象 : 数字の読み書きができ、簡単な計算ができれば入学可能
- URL : <http://force-soroban.jp/>



【「スクールTV」概要】

「スクールTVプラス」は全国の主要科目の教科書内容を網羅し、各地域の教科書の内容に沿って学習ができる他、自ら考える力を養う「アクティブ・ラーニング」を動画内に導入しています。授業の開始前に「アクティブ・ラーニング動画」を採用し、子どもたちの頭が柔らかくなるような学習前の準備運動を設けています。「アクティブ・ラーニング動画」では専門のMCが進行し、学習内容とは無関係のトピックスを子どもたちに投げかけることで、思考力や授業への関心を高めます。

動画授業で学習習慣が身に付いた子どもが、予習復習に加え、成績向上を目指すために開始された月額課金サービスで、動画に連動した問題集が追加され、また回答を誤った際には解説部分の動画まで戻る「巻き戻し機能」が利用でき、いずれも業界初の機能です。

■URL : <http://school-tv.jp/>

■サービス開始日:2016年4月18日(月)

■利用料金:300円

■対象 :小学生(1年生～6年生)、中学生(1年生～3年生)

■学習内容

小学校1～2年生 :算数

小学校3～6年生 :算数・社会・理科

中学校1～3年生 :数学・社会・理科・英語

■サービス特徴

1.「授業動画が見放題」

-小中学校の教科書に対応した授業動画が見放題

-単元の中で「重要ポイント」に絞り込み、テレビを見るような感覚で楽しく学習できる

-映像総数:約1,000本

2.「やる気を育てる講師陣」

-有名大学の現役学生を講師として採用

-お兄さん・お姉さんのような親しみやすさを演出

3.「アクティブラーニングメソッド採用」

-文科省が推進する主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」の視点を導入

-授業の開始前の5分程を「アクティブ・ラーニング動画」を採用し、子どもの興味を惹きつける

-定期的に質問を投げかけるなど適度に自分で考える機会を与えることで、「能動的」な学習が可能

4.「業界初！設問の動画内連動機能:動画に連動した設問を表示」

-業界初！巻き戻し機能:設問に誤った回答をした際に、解説部分の動画まで自動で巻き戻し機能付き

【株式会社イー・ラーニング研究所】

名称 :株式会社イー・ラーニング研究所

本社 :大阪府吹田市江坂町1丁目23-38 F&Mビル6F

東京支社:東京都港区港南1丁目8-40 A-PLACE品川1F

代表者 :代表取締役 吉田 智雄

URL : <http://e-ll.co.jp/>